

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 5年 6月 2日	
青森県知事 殿	
提出者 住 所 青森県弘前市大字川合字浅田26番地1 氏 名 アサヒ建設株式会社 代表取締役 対馬 金吾 電話番号 0172-27-1998	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	アサヒ建設株式会社
事業場の所在地	青森県弘前市大字川合字浅田26番地1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	完成工事高 11億円
③従業員数	33人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場→自社運搬・収集運搬業者へ委託→処理委託

（日本工業規格 A列4番）



## (第2面)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図) 別紙のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排 出 量	30.63 t	38.40 t
	(これまでに実施した取組) ・各現場での産業廃棄物の種類別に分別を徹底。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排 出 量	27.50 t	34.50 t
	(今後実施する予定の取組) ・現状どおり分別収集を徹底し、工法の改善等で資材の無駄を省き、排出量の抑制に努める。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラスチック類、金属くず、ガラス・陶磁器くず、木くず、がれき類等種類ごとに人力や重機でできる限り細かく分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状どおりの種類、分別を継続して行う。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（平成 4 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
排 出 量	7.46 t	5,874.98 t	388.96 t	3.94 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
排 出 量	6.70 t	5,287.40 t	350.00 t	3.50 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（平成 4 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず
排 出 量	2.46 t	0.03 t	295.38 t	10.75 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず
排 出 量	2.20 t	0.02 t	266.00 t	9.60 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（平成 4 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	-	-	-
排 出 量	22.04 t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	-	-	-
排 出 量	19.80 t	- t	- t	- t

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) ・実績なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（平成 4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（平成 4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（平成 4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（平成 4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t



## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（平成 4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	-	-	-
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	-	-	-
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（平成 4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	-	-	-
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	-	-	-
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	（これまでに実施した取組） ・実績なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	全処理委託量	30.63 t	38.40 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.57 t	- t
	再生利用業者への 処理委託量	30.06 t	38.40 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	- t	- t
	（これまでに実施した取組） ・委託基準に従って処理業者を選定、書面による契約を実施してい る。		

## (第4面) - 2

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度（平成 4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度（平成 4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
全処理委託量	7.46 t	5,874.98 t	388.96 t	3.94 t
優良認定処理業者 への処理委託量	3.25 t	- t	- t	0.33 t
再生利用業者への 処理委託量	4.21 t	5,874.98 t	388.96 t	3.61 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

## (第4面) - 3

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度（平成 4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度（平成 4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず
全処理委託量	2.46 t	0.03 t	295.38 t	10.75 t
優良認定処理業者 への処理委託量	2.46 t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	- t	0.03 t	295.38 t	10.75 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

## (第4面) - 4

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度(平成 4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	-	-	-
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	-	-	-
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度(平成 4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	-	-	-
全処理委託量	22.04 t	- t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	19.74 t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	2.30 t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	全 処 理 委 託 量	27.50 t	34.50 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	27.50 t	34.50 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・現状の取組を継続する。 ・優良認定業者への処理委託。 ・産業廃棄物の適正処理のための法令等を把握し順守する。		
※事務処理欄			

## (第5面) - 2

【目標】				
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など
全 処 理 委 託 量	6.70 t	5,287.40 t	350.00 t	3.50 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	6.70 t	5,287.40 t	350.00 t	3.50 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず
全処理委託量	2.20 t	0.02 t	266.00 t	9.60 t
優良認定処理業者 への処理委託量	2.20 t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	- t	0.02 t	266.00 t	9.60 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t



【目標】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	-	-	-
全処理委託量	19.80 t	- t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	19.80 t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 廃棄物処理に関する管理体制

統括責任者		代表取締役副社長
廃棄物担当		工事部 組織人数:12人
役割	環境管理委員会	◇廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生処理、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長—工事部長      ・委員—関連部署課長、係長 ・事務局—総務課
	廃棄物処理統括責任者	○廃棄物処理方針の策定 ○作業所の廃棄物管理規定の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理担当課長 (作業所長)	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業社の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物管理票の交付・管理 ○特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育、啓発 ○その他関係する事項

廃棄物管理組織図



